

製品名: STAT3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86961**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:88 kDa; Observed MW:88 kDa

抗原情報

遺伝子名	STAT3
別名	APRF; HIES; ADMIO; ADMIO1
遺伝子ID	6774
SwissProt ID	P40763
免疫原	ヒトSTAT3の合成ペプチド

背景

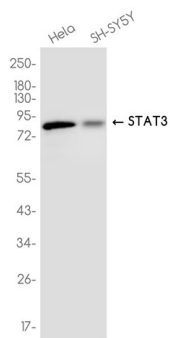
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、STATタンパク質ファミリーのメンバーです。サイトカインや成長因子に応答し

て、STATファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、細胞核に移行して転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、インターフェロン（IFN）、EGF、IL5、IL6、HGF、LIF、BMP2など、様々なサイトカインや成長因子に反応してリン酸化によって活性化されます。このタンパク質は、細胞刺激に反応して様々な遺伝子の発現を媒介し、細胞増殖やアポトーシスなど、多くの細胞プロセスにおいて重要な役割を果たします。低分子GTPaseであるRac1は、このタンパク質に結合し、その活性を制御することが示されています。PIAS3タンパク質は、このタンパク質の特異的阻害剤です。この遺伝子の変異は、乳児期発症型多臓器自己免疫疾患および高免疫グロブリンE症候群と関連しています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq提供、2015年9月]

研究分野

-

画像データ



STAT3 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、SH-SY5Y 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。